



「最も早い」初日の出に祈る



約2300人が見物に訪れた納沙布岬の初日の出＝1日午前6時55分、根室市（加藤哲朗撮影）

【根室】本土最東端の根室市・納沙布岬で1日、道

内の平地では最も早い初日の出が見られ、市民や観光客ら集まった約2300人（根室市観光協会まとめ）が新年を祝った。

新型コロナウイルス感染防止のため、毎年恒例のてつぼう汁販売や太鼓演奏などの催しは中止となつたが、1年前を上回る大勢の人たちが暗いうちから日の出を待つた。日の出時刻の午前6時49分には水平線上に雲がかかり、隙間から日が差し込む程度だったが、午前6時55分ごろ、太陽が完全に顔を出した。

オレンジ色のまばゆい光が照らす海上には、雪化粧した北方領土の島々の姿も望めた。氷点下7・4度の寒空の下、人びとはスマートフォンやカメラで写真に収めた。旭川市から家族4人で訪れた小学6年生のAさんは、「きれいな初日の出だった。今年は新型コロナウイルスが収まつてほしい」と話した。（武藤里美）

2021年1月3日（日）朝刊 全道版 33ページ（記事は再編集しています）

①太陽が完全（かんぜん）に顔を出したのは、何時何分ごろでしたか。

②この写真の様子を「初（はつ）日の出」という言葉を使って5・7・5で表しましょう。

（5文字）

（7文字）

（5文字）